

柴川敏之 × てんとうむしプロジェクト

SHIBAKAWA Toshiyuki × Tentomushi Project



2000年後の小学校 | PLANET SCHOOL

会期 = 2013年3月5日(火) - 30日(土) 10:00 - 20:00 | 会期中無休・入場無料

会場 = 京都芸術センター ギャラリー北・南ほか館内各所 ※「2000年後の発掘現場」(会場=フリースペース)は、3月18日(月) - 23日(土)のみ公開

主催 = 京都芸術センター | 協力 = 京都市学校歴史博物館

「PLANET ICON (2000年後に発掘された招き猫の化石)」
ミクストメディア | 2012年 | 京都芸術センター | photo: SHIBAKAWA Toshiyuki





「PLANET GLASS (2000年後のスタンドグラス)」
 インク、水彩、和紙 2007年 | 伊丹市立美術館 | photo: SHIBAKAWA Toshiyuki



2008年 | 青森県立美術館
 photo: SIEMASA Mawa



2005年 | 京義町現代美術館 (岡山)
 photo: SIEMASA Mawa



2006年 | a piece of space APS (東京)
 photo: SUEZUKI Toshihiko



2012年 | 岡山後楽園
 photo: SHIBAKAWA Toshiyuki



2011年 | 大阪市立近代美術館 (京都) 心斎橋展示室
 model: SEKI Noriko photo: SHIBAKAWA Toshiyuki



2012年 | 東京ステーションギャラリー
 photo: SIEMASA Mawa



2012年 | 東京ステーションギャラリー
 photo: SIEMASA Mawa

柴川敏之×てんとうむしプロジェクト「2000年後の小学校」展

会期=2013年3月5日(火)–30日(土) 10:00–20:00

※「2000年後の発掘現場」(会場=フリースペース)は、3月18日(月)–23日(土)のみ公開

京都芸術センターでは、芸術文化の分野における創造的活動を支援し、それらの振興と普及を図るため様々な事業を展開しています。中でも、本企画「てんとうむしプロジェクト」は、2010年に京都芸術センター開設10周年の記念事業としてスタートし、京都芸術センターで活動する約250名のボランティア・スタッフと共に運営するアートプロジェクトです。第4回目となる今回は、41世紀の未来から〈現在〉を見つめるという視点で制作を続ける美術作家、柴川敏之を招聘しました。

柴川は、私たちの身の回りにあるごく普通のを化石化することによって、〈現在〉を象徴するものに変換し、〈現在〉とは何かを問いかけます。「歴史は過去、現在、そして未来へと続いている。2000年後の未来を考えるということは、〈現在〉を考えることでもある。現代社会の諸問題を考える時、2000年後という未来からの視点で現代社会を眺めてみると問題解決への思わぬ発想やアイデアが生まれるかもしれない」と柴川は語っています。

そして、京都芸術センターは、戦前の番組小学校の特徴をそのまま残している元・京都市立明倫小学校の歴史や建物の文化財的価値に着目し、自由な芸術活動を行えるよう配慮しつつ、既存の施設をできる限り生かした改修を行い、アート・センターとして運営しています。このことと柴川の作品制作テーマを組み合わせ、本展覧会のテーマを「2000年後の小学校」としました。

開館当初からさまざまな現代美術の作家の作品に出会い、鋭いまなざしを向けてきた京都芸術センターのボランティア・スタッフと柴川が、10か月にわたってミーティングを重ね、その結果生まれた展覧会を通して問いかける〈現在〉。「2000年後の小学校」となった京都芸術センターに、その答えを探しに来てみませんか。

京都芸術センターボランティア・スタッフについて
 京都芸術センターでは、大学生から80歳代まで年齢・性別を問わず約250名のボランティアスタッフが活動しています。展覧会における監視業務、発送作業補助、公演・演奏会などイベントの受付補助などが主な仕事です。ボランティアスタッフの中には、開館当初から継続して活動을続ける人、地域住民として協力をしている人など、そのかわり方は多彩です。他施設で文化ボランティアとして活動するなど、地域とのつなぎ手としても活躍しています。

てんとうむしプロジェクト ロゴマーク
 ボランティアスタッフ井上舞さんによるデザイン。プロジェクトの名称は、京都芸術センター開設10周年にちなんで名づけられました。「てん(ten)」、「とう(+)」、「むし(6む+4し)」とすべて数字の10に関連しています。



アーティストプロフィール(しばかわ・としゆき)
 イタリアのボンベイ連跡や広島県福山市の草戸千軒町連跡に発掘され「2000年後から見た現代社会」という壮大なテーマをもとに活躍する美術作家。現代を象徴する身近な物をベースに絵画的技法を用いて「化石」化した作品を制作し、全国のミュージアムをはじめ、街の商店街や歴史的建造物等での、地域や場所にこだわった展覧会やプロジェクトを精力的に行っている。また同時に、子どもたちや一般の人々を対象にしたユニークなワークショップを通して、ものの存在や現代の諸問題について、見つめ考え直す活動を続けている。1966年11月11日アルベルト・ジャコメッティの命日に大阪府で生まれる。現在、岡山市在住、就美短期大学教授。公式ホームページ=http://www.planetstudio41.com

【関連企画1】アーティストトーク「2000年後のギャラリーツアー」

日時=3月10日(日) 14:00–16:00
 会場=館内各所(集合場所=館内入口のプロジェクトルーム)
 内容=柴川敏之によるギャラリートークを行います。
 ※事前申込不要・入場無料

【関連企画2】アーティストトーク「2000年後のナイト☆ツアー」

日時=3月10日(日) 19:00–21:00
 会場=館内各所(集合場所=館内入口のプロジェクトルーム)
 内容=柴川敏之によるギャラリートークを行います。夜の小学校…といえば、きもだめし。2000年後の夜の小学校へ出かけてみましょう。
 ※当日は、一部展示会場を21:00まで延長開廊します。※事前申込不要・入場無料

【関連企画3】ダンスパフォーマンス「2000年後の人類☆復活」

日時=3月17日(日) 開演 18:00
 会場=フリースペース
 出演=関典子(舞踊家/神戸大学大学院人間発達環境学研究所講師)
 内容=2000年後の発掘現場から蘇った人類(ダンサー)が、2000年後の小学校に出現…?
 ※事前申込不要・入場無料

【関連企画4】明倫茶会「2000年後の発掘☆茶会」

日時=3月23日(土) 11:00 / 13:00 / 15:00 / 17:00
 本席=和室「明倫」(待合=フリースペース)
 内容=抹茶
 料金=1,000円
 申込方法=往復はがきに、催し名・住所・氏名・電話番号・希望時間・同席希望の方がおられる場合はその方のお名前(1枚につき4名まで)を明記の上、3月8日(金)(消印有効)までにお申ください。ウェブサイト(<http://www.kac.or.jp/>)からも申込可。応募者多数の場合は抽選。

【その他の関連企画】

他にも、「2000年後のテスト」、「2000年後のワークシート」、「2000年後のランドセルプロジェクト」、「2000年後のミニワークショップ」など、企画が盛りだくさん。詳しくは、館内入口のプロジェクトルーム、またはウェブサイトをご覧ください。

京都芸術センター KYOTO ART CENTER

〒604-8156
 京都市中京区室町通南条下る山伏山町546-2
 TEL:075-213-1000 FAX:075-213-1004
 URL:<http://www.kac.or.jp>
 E-mail:info@kac.or.jp
 地下鉄烏丸線「四条駅」、阪急京都線「烏丸駅」
 22番・24番出口より徒歩5分。
 駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

